



東京八王子プロバスクラブ

創立 1995 年 10 月 18 日

2018～19年度 テーマ

プロバスだよ

第274号

2018年9月13日発行

編集・発行：情報委員会

語り合おう！そして楽しく豊かなクラブライフを！

第 274 回 例 会

日 時：平成 30 年 8 月 9 日 (木) 12:30～14:30

場 所：八王子エルシィ

出席者：53 名 出席率 86.9 %

(会員総数 64 名 休会 3 名 欠席 8 名)

会食とハッピーコイン披露

池田例会委員長の進行で会食に入り、飯田副会長からハッピーコイン 14 件の披露があった。

(6～7 ページに掲載)

1. 開 会

池田例会委員長

第 274 回例会開催通告と配布資料の確認。

2. 会 長 挨 拶

馬場会長



皆様今日は。台風が東に逸れ本例会を開催出来ましたことを喜んでます。

またお忙しい中、多摩プロバスクラブ会長の澤雄二様、幹事の鈴木泰弘様のご出席を賜り、感謝と歓迎を申し上げます。後ほど澤会長にはご挨拶をお願いいたします。

例会に入る前にご報告があります。突然ではありますが、当クラブの名誉会員である大野聖二様が逝去され、7 月 23 日には近親者による密葬が執り行われたとの知らせを受けました。別途「偲ぶ会」等があると思われませんが、その際には会員の皆様にはご連絡を差し上げます。本日は故大野聖二様のご冥福をお祈りし、黙とうを捧げたいと存じます。ご起立ください。

大野聖二様は八王子市における市民活動に大きな功績を残されていますが、当クラブの設立にも尽力され、初代及び第 10 代会長としてクラブの基礎を築

かれたことに感謝しつつ「黙とう」。

(大野聖二誉会員に捧げる杉山友一会員の追悼文を 5～6 ページに謹掲しました。)

さて、8 月は戦争の悲惨さに思いを馳せ、平和を願う月でもあります。一方では戦争を知らない世代が大半となり、今後が心配でもあります。関連して開催された八王子の第 33 回平和展を見学し、広瀬智子会員の「八王子空襲の語り部」を聴いて参りました。地道な活動に敬意を表する次第です。

次に西日本豪雨災害の件です。その被害の深刻さが判明し、8 月理事会ではクラブとしての対応を議論し、義援金を募ることと致しました。後ほど募金箱を回しますので、広島、岡山、愛媛等の惨状を思いつつ皆様のご協力をお願いします。

なお、本日欠席の宮崎浩平会員からも協力頂き、カラオケ同好会からは多額の募金の申し出を受けています(代表して杉山会員から趣旨説明がありました)。なお、義援金としての纏まりを考慮し、ハッピーコイン勘定からの一定額の拠出について皆様の事前了解をお願いする次第です。具体的な金額についてはインターネット理事会にて決めさせて頂き、9 月例会に報告しますので拍手でご承認をお願いします。(拍手)有り難うございました。

最後に、この 1 ケ月間の外部対応を報告します。寺田幹事と共に八王子市役所へ伺い、市長・教育長・生涯学習スポーツ部長に、又八王子市民活動協議会にもお伺いし、理事長・事務局長に、夫々新任挨拶をして参りました。

一方、大澤敬之副幹事の紹介でタウンニュース社のインタビューを受け、当クラブの活動内容を紹介しました。本日の例会風景を撮影して送ることを約束し、情報委員会に依頼しました。

台風一過で暑さが戻りそうです。皆様、お体を労わってください。

3. 来賓の紹介と挨拶

東京多摩プロバスクラブから澤雄二会長、鈴木泰弘幹事のご参加を頂いた。

ご挨拶

澤 雄二会長

皆さん今日は。東京多摩プロバスクラブ第15期会長の澤雄二です。台風が接近している中、定例会の開催を決断された分析力・決断に敬意を表します。



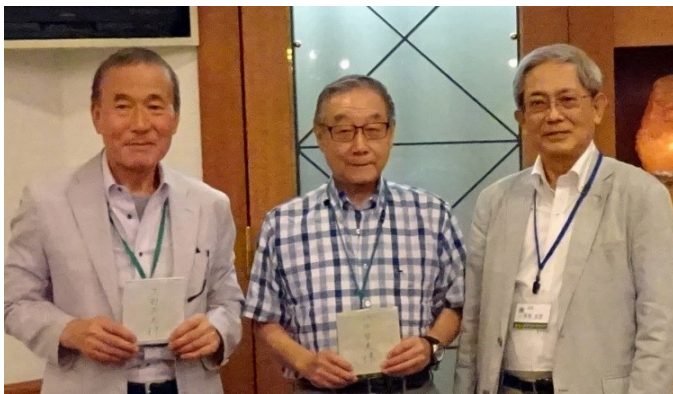
東京地域のプロバス活動は八王子・日野・多摩がその活動の中心となっており、今後とも一緒に活動をしてゆきたい。会相互の交流活動や視察への相互参加、さらには都内や近隣地区に新しいプロバスクラブの立ち上げ等のお手伝いができる機会が作れたら良いと考えます。

多摩プロバスクラブは会員の平均年齢が79.5歳となっており、今期設立15周年を迎え、20周年を目指して、会員の増強や体制の強化を図ってゆきたいと考えています。社会奉仕活動や会員相互の親睦についても、八王子の22年間にわたり継続されている生涯学習サロンの実績に学び、15周年を機に多摩においても「寺子屋塾」を立ち上げたいと考えています。

プロバス活動は、歳を取ったから止めるのではなく、楽しく、優しく奉仕活動が出来、死ぬまでプロバス活動が続けられる会にしてゆきたい。兄のように八王子プロバスの会を慕っておりますので、今後ともご指導をよろしくお願いします。

4. パースデーカード贈呈

8月生まれの会員に池田会員の手作りのパースデーカードが贈られた。



写真左から、久野、八木会員と会長（竹内、宮崎会員は欠席）（敬称略）

5. 卓 話 「けがの要因」

～怪我による寝たきりを防ぐために～

杉田 信夫会員



自己紹介から始めます。杉田信夫と申します。昭和23年生まれの70歳です。35歳で脱サラして今年で社労士業務35周年となりました。

当時、社労士（社会保険労務士）と言ってもほとんどの人が知りませんでした。「労災と失業保険の手続きをします。」と言っても「税理士に任せているので間に合っています。」とか「まだ必要ない。」などと断られる時代でした。

そこで看板に《会社の保険屋さん》という触れ込みにして八王子市元本郷町に事務所を構えました。

昭和61年に入り社会保険が法人では強制適用となり、ラジオや新聞等で盛んに加入を呼び掛けてくださいました。そのおかげで営業力の無い私でも顧客を多く広く獲得する事が出来ました。

今回の卓話に関しては怪我の要因についてお話をさせていただき、怪我の発生を少しでも減らして「怪我による寝たきり」をなくしていけたらと思います。

《怪我の要因について》

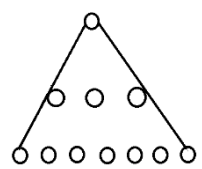
- 無 知-----機械操作、薬品、毒、熱、化学対応
- 慣 れ-----手抜き、省略、怠惰
- 環 境-----建築物（段差）、機械物（性能）、労働条件（過重労働）
- 突発的-----飛来物（ボール、タイヤ）、道路の陥没、スリップ
- 精神的状態-----疲れ、注意力低下（考え事等）、落ち込み、高揚、急ぎ、過信
- 老 化-----体力の衰え、記憶力の低下
- 自然災害-----雪、雷、風、雨、蜂
- 利益追求-----能率優先（安全装置）（残業強要）

怪我の要因は様々ありますが職場で起きた時は労災となります。（業務に起因）（業務遂行性）

怪我の発生を少しでも少なくする為の方法として怪我の要因、知識、経験を皆で共有する事によって怪我を減らすことにつながります。

共有する-----一人ひとりの経験を話し合い、皆で理解する事。

ハインリッヒの法則 1:29:300



「1人の死傷者に対し29人の軽傷者の発生があり、この29人の軽傷者に対して、300人のヒヤリハット経験者が存在する」という労務災害における経験則の一つ。ヒヤリとした経験者を減らせば軽傷者が、軽傷者を減らせば死傷者も減らすことができる。

類 例 ニューヨークの地下鉄（市長の汚れ対策）

汚れ(ゴミ・落書き)—犯罪・事故—怪我—死傷者
・安全衛生5S—整理・整頓・清掃・清潔・しつけ
・安全第一（見栄・体裁）
・利益第一（悪くみられる・恥ずかしい・もっと安く出来るのでは？）

《高齢者の怪我は恐ろしい》

- ・治癒が遅い ・外出が少なくなる ・運動不足
- ・会話が少なくなる ・自閉的になる

怪我をしない為にはヒヤリとした、ハッとした事を話し合い、体験を共有して怪我予防をしましょう。

6. 幹事報告

寺田幹事

・会長よりお話がありましたように、平成30年7月豪雨災害義援金募集箱を各テーブルへお返ししておりますので、ご協力をお願いします。



・既存の資料、備品管理マニュアルをベースに実態調査や印刷自前化のために、不足する電子データ収集や備品の調査、新入会員への対応等を含めた役割分担、引き継いで行く事項の明確

化と整理等を目的に検討中です。

- ・自主学習会の立ち上げ、参加人員の少ない野外研修の対策等が審議されました。
- ・学習サロン当日会員の受付業務の対応、サロンテーマについて審議しました。
- ・近隣クラブから学ぶことに関して、各クラブの印刷物を回覧し、これはと思う内容について紹介し合う事などを審議しました。
- ・ホームページの在り方、内容のアップについては引き続き検討します。
- ・例会などでの名前の呼び方について、公式の場では〇〇会員という呼び方をお勧めします。

7. 委員会活動報告

(1) 例会委員会

池田委員長

本日の出席者数は会員53名、来賓の方が2名です。会員の出席率は86.9%です。

本日の卓話は、杉田信夫会員による「高齢者と怪我の問題」。少し時間を超過しましたが、大切なお話ですので良かったと思います。



(2) 情報委員会

持田委員長

・新年度の情報委員会として初めてのプロバスだより273号を皆さまのお陰で無事発行できました。総会記事、寄稿文などで盛りだくさんになりました。ありがとうございました。



・HPに馬場会長のメッセージを入れ、更新いたしました。また、「プロバスとは」という説明も改めて加えております。

・また、HPのクリック回数のカウントのことですが、毎月の集計が安いコストでできることが確認できましたので、8月よりカウントを始めています。次回9月の例会にはクリック回数を報告致します。

(3) 会員委員会

岡本委員長



・新会員を増やしたい。現在の64名から70名までにしたいので、ご協力をお願いします。

・会員名簿の訂正、名札の訂正を行った。会員名簿に訂正の帯を貼って下さい。

(4) 研修委員会

有田委員長

①「自主学習会」の立上げについて

新たに有志による「自主学習会」を立上げたく、会員の積極的な参画をお願いします。



(1) 目的

豊かなプロバスライフを送るために、仲間と共に生涯学習に取り組み、自己の充実を図る。また、その成果を社会に還元していく。

(2) 主な運営方法

- ・同好会活動として運営していく。
- ・メンバーは、他団体との交流を図る観点から他団体

のメンバーを加えても良い。

・視野を広げるために必要があれば、適宜、学識経験者の助言を受け、見学会を実施。

・学習成果は、「卓話」で報告し、会員全員で共有を図る。

・テーマによっては、「生涯学習サロン」「出前講師」「学習報告書」等で発表し、社会に積極的に還元していく。

・こうしたプロセスを踏み、「半学半教」の実践により、学習効果を更に高める。

(3) テーマ設定の切り口および事例

・会員の多様性を活かすべく、学習する際の切り口として次の基準も参考にする。

① 学習課題基準：要求課題(個人的要求)と必要課題(社会的要請) ② 自己実現基準：個人的自己実現(個人に還元)と社会的自己実現(社会に還元)

・事例：「老齡学(ジェロントロジー)」「財政破綻問題」「介護問題」「仏像の研究」

(4) 学習会結成届

・リーダーは、「学習会結成届」(形式自由)を研修委員会に提出願います。随時受付します。

この報告の後、杉山会員から本提案への力強い賛同表明がありました。(報告の後に掲載)

②「野外研修」について

本年も例年通り11月の例会日に実施します。研修先としては、無理のない行程にするため八王子周辺の大学を選定しました。キャッチフレーズは、「今、八王子の大学はおもしろい!」です。八王子周辺には個性豊かな大学が沢山あります。このリソースに着目しました。

現在、具体的な訪問先の選定中ですが、次の9月例会時には、詳細のご案内をさせていただきます。今年も多くのご参加を期待しております。

《素晴らしい自主学習会構想》

杉山 友一

有田研修委員長からの自主学習会活動のご提案に応援演説をさせていただきます。

有田さんは日立のOBとして定年前後の社員教育の仕事をしている方です。そうした立場からも生涯学習の大切さを認識しておられて、今回の提案につながっていると思いますが、この方針に大賛成なのは目的が明確なことです。仲間と共に生涯学習に取り組んで、個人の充実を図りながら、併せて社会貢献

にも繋げていこうということです。

早速私も、この目的にそって、次の9月の例会では「老年研究会」(老人研究会とは言いません)という構想を提案させていただく積りです。それは、今や100歳時代に向かって進んでいるといわれるこの国で、産・学・官・民、それぞれの分野での現在の在りようと近未来展望、そんな目線の学習会の展開を目指してみたいと考えています。

そして、今回のご提案の更に良いところは、それぞれの学習会に他団体からの参加もOKだということです。プロバスクラブは、毎年の「学習サロン」や「宇宙の学校」で外部とつながっていますが、そうした連携プレイを他団体との学習交流という形で更に発展させようという考え方は、プロバスクラブのリーダーシップが大いに期待される機会ともなります。このプロバスクラブならではの自主学習会活動構想は八王子市の窓口である生涯学習部にも、しっかりと後援してほしいと申し入れてあります。

会員の皆様には是非とも積極的なご参加、ご協力をお願いしたいと思います。生涯発達、それはプロバスの願いでございます。どうぞよろしくお願いいたします。

(5) 地域奉仕委員会

一瀬委員長



生涯学習サロンについては、例年通り、2 特別講話・12 サロン講座について「楽しい豊かなサロン」を目指して企画中であり、9月例会時には公表予定です。プロバス会員の中の何人かに話

し手をお願いすることになると思いますがよろしく願いいたします。野外サロンについても特に「一般会員に喜んでもらえる」視点から現在企画を進めております。サロン受付体制の改善についても検討を進めており、野外サロンと合わせて次月例会にて報告いたします。

(6) 交流担当

田中担当理事



他クラブとの交流の一つに「クラブだより」の交換があります。今後はこの中からトピックスがあればご紹介して行きたいと思います。本日お見えの東京多摩プロバスクラブでは、来年5月に向けて創立15周年記念

事業計画をすすめておられること。

又、東京日野プロバスクラブでは、「休会会員のご様子報告」という欄があり、休会中の会員の様子が紹介されていたのはユニークでした。

(7) 宇宙の学校

下山PJ リーダー



「宇宙の学校」の小学校 1 学期に行う諸行事は、7 月 14 日の都立北高校会場をもって、計画通りに実行されました。

夏休み期間は、配布してある「宇宙の学校」家庭学習教材を使って身近なものの、観察・実験・工作を進める自由研究をやっていただきたいと願っています。昨年度のレポートでもそれぞれ感心するものが多くありました。

例えば簡易気圧計を作って(密封した瓶にストローを挿したもの)、新潟のおばあちゃんの所にお父さんと車で行き、各パーキングエリアで、目盛りを刻み、その標高と気圧の関係を調べた例などありました。今年もいろいろ出てくると思います。子どもたちの心に火をつけることができると信じています。

さて先月から馬場会長を会長とする「宇宙の学校」支援の会として金銭のご支援をいただいています。誠に有難うございます。後援会を通して大学生ボランティアの募集費用負担、実行委員会の実行費用支援などに用いさせていただきます。

先月、今月続けてお休みであった方を除いて、全員の方にご協力を頂きました。改めてご協力に深く感謝申し上げます。

8. 同好会活動報告 (お茶の会・フラダンス同好会)

お茶の会

有泉 裕子

お茶の会からお願いとお知らせを致します。

毎月第 4 火曜日 10 時～12 時まで、阿部治子会員(茶道宗編流正教授)(煎茶道東阿部流顧問上席十徳所持)の自宅で、ご指導のもと、日本の四季と一服の茶に込められた、礼作法、掛け軸、焼き物の観賞、もてなしの文化など「空なる茶室」でお互いの心の通じ合い、思いやりの心が楽しみになるよう学んでおります。是非一緒頂きたいと思います。

次にお知らせですが、昨年からお前講座として台町市民センター祭りのとき、同好会一同で阿部先生の社中の皆様のご協力を頂き「お茶の会」を開催して

おります。

今年も 10 月 28 日(日)にありますので是非お出かけ頂きたいと思います。お抹茶とお菓子ができます。色々な展示物、イベントなどもあります。

フラダンス同好会

根本 照代

同好会が発足して、この 8 月で満 2 年になります。生涯学習サロンのさよならパーティーで 2 回成果をご披露しましたが、外部への発表会までには至っていません。10 人で発足し、現在は 5 名となり、やや淋しい状況ですが 3 年間は頑張りたい。女性会員の紹介のお願いと男性の参加も期待しています。

9. プロバス賛歌斉唱

10. 閉 会

飯田副会長

本日は多摩プロバスクラブ会長澤雄二様、幹事鈴木泰弘様のご参加を頂き、例会の最後までお付き合いいただきました事に感謝申し上げます。

例会におきましては馬場会長、寺田幹事から当クラブの課題について、理事会にて検討されていることが報告されました。また卓話では杉田会員から「けがの要因」について興味深いお話を伺う事が出来ました。ありがとうございました。

各委員長におきましては今年度の進捗状況等を話して頂きました。

台風一過猛暑が続くことが予想されます。どうかお身体に十分お気を付けて、9 月 13 日の例会日にはお元気にお会いできます事を楽しみにいたしております。以上を持ちまして本日の例会を閉会と致します。



大野聖二さんを悼む

杉山 友一

また一つ大きな星がこの町から消えた。去る 7 月 19 日に大野聖二さんご逝去(91 歳)の報あり。7 月のプロバス新年度のクラブ総会で、昨年に引き続き大野聖二さんを名誉会員に推戴する旨、馬場会長から報告があったばかりである。浅からぬご縁をいただいていた私には万感胸に去来するものがある。

昭和 46 年に大野さんから東京八王子西ロータリークラブに誘われて、爾来 35 年間、共にロータリーラ

イフを満喫してきた間柄である。因みに、今の東京八王子南ロータリークラブは、東京八王子西ロータリークラブが創立20周年を終えた翌年、時の地区ガバナーからの強い要請を受けて設立されたものだが、創立事業の中身は概ね大野聖二さんと私の合作である。そして1995年、今度は東京八王子南ロータリークラブの創立10周年記念事業として東京八王子プロバスクラブが設立されたが、この事業のロータリー側のまとめ役が私で、チャーターメンバーと共に新クラブの形を整えられたのが大野さんだった。

そのプロバスクラブもプロフェッショナルシニアの集まりとして23年の時を刻み、今日ある姿を見るにつけ故人の長年にわたる奉仕の心とその実践に改めて感謝したいと思う。さて、大野聖二さんといえば、何より「いちよう祭り」を抜きには語れない。私はその第一回いちよう祭り開催時の事務局長を務めたのだが、物心両面から何の保証も全くないままに、大衆を相手に大野さんの夢にかける情熱だけで走り出してしまったこの一大事業、ひどく不安を感じながらも寄付金集めに奔走した当時を思い出す。その後、祭りは幸いにも行政の後ろ盾を得て年々発展を続け、今や夏の八王子祭りと並んで、今年で39回を数える秋の一大イベントとして町の風物詩となっている。この祭りは大野さんのレガシーとしてこれからも長く生き続けていくことだろう。まさにご同慶の至りだ。因みに、故人の遺志を継ぐ現在の祭典委員会の責任者は当クラブの佐々木研吾会員が務めている。

大野さんは、郷土史家として、文化人として、市民運動家としてこよなくこの町を愛した人であり、そして何よりも理想を追い求め、一生涯夢追い人の道を貫いた方だと思っている。会員に最も身近なところではプロバスクラブの学習サロンがあるが、これもまた大野さんの夢がプロバスを舞台として花開き今に続いているレガシーである。

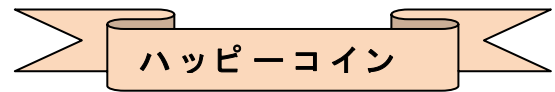
さて、時にまた好事魔多し、老いは突然に残酷な仕草を見せるものである。思えばここ数か月、いよいよ心身のバランスを崩してあっという間に黄泉の国の人となってしまった。傘寿を超えてなお、老い越し、老い抜き、老い飛ばしながら卒寿の第四楽章を歌い上げた偉大な先輩に、永遠のお別れを申し上げ衷心よりご冥福をお祈りしたい。

時は光陰矢の如し、いま地平の彼方から「祇園精舎

の鐘の声 諸行無常の響きあり……」と、無常を唄う琵琶の音が胸の奥底に突き刺さるように聞こえてくる気がしてならない。

合 掌

追伸：なおご葬儀告別式は近親者のみでの密葬とされました。その後の差配については、ご遺族の意向を伺いながらの手配とされております。(8月5日記)



◆今日のご挨拶に伺いました。八王子と多摩、いつまでも仲良く進めることを祈っています。

多摩プロバスクラブ 澤 雄二

◆9月15日(土) 男声合唱団コールプレアテスの創立30周年を記念して演奏会を開催します。ご来場をお待ちしております。

武田洋一郎

◆西日本豪雨・台風による各地方の被害に心を痛めます。心からお見舞い申し上げます。プロバス会員みなさまとお元気に集える事、大切にしたいと思います。

宮城 安子

◆猛暑が続いています。適度な塩分と水で予防し、熱中症に注意しましょう。

高取 和郎

◆ドイツから孫や娘たちがやって来て、賑やかになりました。来るたびに柱のキズが高くなり、孫の成長ぶりを楽しんでいます。

岩島 寛

◆一昨日は鰻屋の二階で俳句の会を開催、美味しい鰻に大満足、句会もしっかり!! メンバーの幸せな顔にハッピー!!

飯田富美子

◆例会日を目指す台風に困惑しましたが、東にそれでハッピーです。

馬場 征彦

◆心配された台風も遠のいて、今日の例会が予定通り開かれ、多摩プロバスクラブから澤会長、鈴木幹事をお迎えすることができました。

田中 信昭

◆① 東京多摩プロバスクラブの澤雄二会長と鈴木泰弘幹事のご訪問を歓迎します。② 数日間高原で過ごしましたが、この間高原と平地を2往復して、高度差100m毎に気温が1度違うことを実感すると共に、高原の涼しさを満喫しました。

寺田 昌章

◆6月15日に80歳を迎えました。そこで、傘寿の記念に0歳当時に通っていた「銭湯」に行つて来ました。すっかり元気になりました!

これからも、83・5・7歳のお祝いに行こうと思っています。

山形 忠顯

◆新年度の情報委員会として、初回のプロバスだよりの発行が、お陰様で予定通り出来ました！

今年度情報委員会は8名と言う少数精鋭集団で、より良い会誌づくりを目指します。 持田 律三

◆たまには参加しないといけませんね。

佐々木秀勝

◆雨乞いをした数日後に洪水に見舞われたり、台風が西進したり、体温以上の熱気の中で何日も暮らすなどと自然から挑戦を受けている感じがします。それにしても災害の少ない八王子に住んだのは何と幸せなことか。

一瀬 明

◆入会して2ヶ月がすぎました。会の雰囲気が少しわかってきました。「宇宙の学校」を通して楽しんでいます。皆さんよろしくをお願いします。 塚本 吉紀

プロバス出前講座

「やさしい絵手紙教室・割り箸で絵手紙を書いてみましょう」 講師 池田ときえ会員

8月4日(土)かねてより池田ときえ会員にお願いしていました絵手紙講習会を開催しました。

富士森の西(散田2丁目)に位置する朝日ヶ丘団地の老人会・長友会(会員数77名、会長・八木啓充会員)の絵手紙同好会会員を中心に参加者は15名ほど。

池田講師より割り箸で絵を描いたり、紙を貼ったり、絵の具を散らしたり、いろいろな絵手紙の書き方を作品見ながら説明していただきました。



参加者は、はじめて目にする多彩な絵手紙作成の仕方に目から鱗が落ちた様子でした。お一人様の多い会員たちですが、絵手紙を作りながらの楽しいコミュニケーションは人生を豊かにする機会になることでしょう。池田さんありがとうございました。

(文責 八木 啓充)

シニアダンディーズ

檜の里で定期演奏会

シニアダンディーズは7月7日(土)の七夕の日に檜の里で慰問コンサートを開催。「たなばたさま」「きらきらぼし」などを披露し、施設の皆さんと楽しいひと時を持った。(写真撮影は下山会員)



私の愛車遍歴 その2

立川富美代

コロナを何台か変えた頃には、待望のコロナ・ハードトップが出ました。真っ白でどきどきしながら運転しましたが、購入して半月も経たない時に、子供3人乗せて小田原の海へ行く途中に、ハンドルの下からもくもくと煙が出てきたのです。段々車中に煙が回るようになり、慌てて道路の端に寄せて急いで子供達を外に出しました。

ドアが1枚なので、中々全員が外に出られず、火を噴いたらどうしようと、あの時は本当に慌てました。トヨタから車を呼び、子供を乗せて家に帰りました時は夜中でした。原因はと言うと、パワーウィンドーの配線のよじれで発火したらしく、納車半月の事故だから新車に替えろと大分ねじ込みましたが、結局は直して返してきました。あこがれのハードトップなのにながかりしましたよ。

次はグレイのハードトップ。ナンバーは0771(忘れもしない車です)。ある日出かけて JR 南口の多摩信用に寄り、子安に出て広い道の出口で止まった時、ポンポンと誰かが叩きます。誰だ?お巡りさん!何も違反してないのに。それからのやりとりです。

巡査〜どこから来た?どこに行く?

私〜家から日野まで。

巡査〜どの路通った?

私〜万町から南口へ、多摩信用へ。

巡査〜分かっとな。

私～見てた？（何か変？？） 何なのですか。教えてください。

巡査～今、富士森公園でひき逃げがあった。 그레이のハードトップで女性が運転。ナンバーの下三桁が771。私～今の私の顔がひき逃げしてきた顔に見えますか？

巡査～車に疵もないし、違うかな？そこへ連絡あり。犯人捕まったと。

私はもう頭にきて怒鳴りまくりました。ひき逃げ犯人にされかかった車。大好きな車でしたがすぐに買い替えました。

夫も亡くなり、もう贅沢に車検ごとに車を乗り換えることもしなくなりましたが、仕事やボランティアで走り回りますので、相変わらずトヨタの車を愛用しました。

次女の結婚で同居が始まり、若い者が大きな車に乗るので、私はそれ以来軽自動車に変えました。最初は孫のリクエストで緑色の三菱の軽自動車。良く孫の幼稚園に迎えに行きました。帰りに車の中で大きな声で歌を歌いながら……孫たちもかわいかった時です。

実家も誰も居なくなり、名古屋に飛ばす事もなく、我が家も娘たちがマンションに移り、私も仕事も終り広い家に一人暮らしは大変なのでマンションに移りました。

ある日、ガソリンを入れに行きましたら、奥さん車検が3月も切れているよーと言われびっくり！その足でダイハツに行き、車下さいと。カタログを出すから、あれ下さい。それは可愛いなと思っていたダイハツ・ミラ。すぐ欲しいけどダメ？手続きがあるから一週間かかるよ。まるで豆腐を買うようなやりとりで買いました。私の車人生の最後の車でした。

エンジ色のまるでダイアナさんが乗るような素敵な色でした。軽自動車のわりに中が広く、足の短い私にはぴったりの車でした。13年間乗り回し私の足になってくれました。この2年くらい運転が下手になったなあと思い始めたとき、高齢者の事故が増えました。娘たちにひざ詰め談判で運転止めてくれと言われ、納得して車を手放したのですが、車に乗れないことはこんなにストレスが溜まるかと思いましたね。

でもバスであちこちすることで運動にもなり、良いことも沢山あります。運転される方、くれぐれも事

故の無いようにしてください。免許証返上の近づいている方は尚のことです。58年にわたる運転歴の中で、無事故無違反は自慢です。

俳句同好会便り

私の一句～八月の句会から

河合 和郎

殺人的な猛暑の夏。俳句同好会でも元気を出そうと八月に因んで句会を「鰻屋の二階座敷」でと張り込んだ。鰻重に舌鼓をうち、ほろ酔い加減で臨んだ句座。

蚕豆の青を炊き込む朝餉かな 渋谷 文雄

蚕豆の青と炊きあがった白米の白の対比が目につかぶ。一人暮らしにめげない、男の朝の料理。

立秋も寝蓆に喘ぐ酷暑かな 山形 忠顯

今年の夏の異常な暑さは正に喘ぐ酷暑。立秋を過ぎても、夜の寝苦しさは寝蓆でも変らなかった。

友釣や盄を底い釣り落す 東山 榮

鮎釣りの醍醐味は鮎の性質を利用した友釣りにある。盄の鮎を底って、折角の獲物を逃がしてしまった。

里山の木の間に走る夏帽子 矢島 一雄

里山と夏帽子の組み合わせがいい。夏休みの子供たちの元気な声が響いて来る。躍動感あふれる一句。

この国が沈んでゆくか泥の夏 池田ときえ

沈むのは日本だけではない。気象の異常は世界の各地で。「泥の夏」の悲劇を繰り返さない知恵を。

大江戸に千紫万紅大花火 田中 信昭

花火は隅田川に限ると作者。今年の花火大会も素晴らしかった。スカイツリーと花火はよく似合う。

四万十の鮎の塩焼き酒二合 飯田富美子

四万十の句は作者の十八番。塩焼きの鮎で一杯とは贅の極み。味で楽しみ句で楽しむ。これもまた贅。

夕闇の門火が照らす絆かな 馬場 征彦

盆行事の一景。ご先祖様との再会。迎え火が照らし出す絆。古き良き日本の心をいつまでも伝えたい。

秋蛩応へぬ闇の深さかな 河合 和郎

秋の蛩は夏蛩に比べて光りも弱々しい。呼んでも応えの無い虚しさ。人生の秋も孤愁が忍び寄る。

編集後記

こんな暑さに誰がした。文句の一つも言いたくなるような毎日。暑い最中の編集作業でした。暑さに免じて多少の不出来はぜひご不問に。

情報委員会・河合和郎